

製品名: BLM ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07577**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	BLM
別名	BLM; RECQ2; RECQL3; Bloom syndrome protein; DNA helicase; RecQ-like type 2; RecQ2; RecQ protein-like 3
遺伝子 ID	641.0
SwissProt ID	P54132
免疫原	抗血清はヒトブルーム症候群由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 65-114

背景

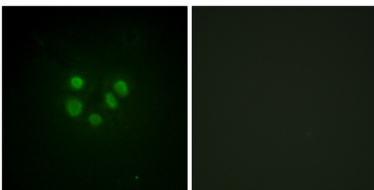
ブルーム症候群遺伝子産物は、DExH ボックス含有 DNA ヘリカーゼの RecQ サブセットに関連し、DNA 刺激性 ATPase 活性と ATP

依存性 DNA ヘリカーゼ活性の両方を有する。ブルーム症候群を引き起こす変異は、ヘリカーゼモチーフを削除または改変し、3'-5'ヘリカーゼ活性を阻害する可能性がある。正常なタンパク質は、不適切な組み換えを抑制する働きをする可能性がある。[RefSeq 提供、2008年7月],疾患: BLM の欠陥がブルーム症候群 (BLM) [MIM:210900]の原因である。BLM は常染色体劣性疾患であり、出生前および出生後の成長不全、日光感受性毛細血管拡張性皮膚の低色素性および高色素性、悪性腫瘍素因、および染色体不安定性を特徴とする。機能: DNA 複製および修復に関与する。マグネシウム依存性、ATP 依存性の DNA ヘリカーゼ活性を示し、一本鎖および二本鎖 DNA を 3'-5'方向に解く。オンライン情報:BLM 変異データベース,PTM:DNA 損傷に反応してリン酸化される。リン酸化には、FANCA-FANCC-FANCE-FANCF-FANCG タンパク質複合体と RMI1 の存在が必要である。類似性:ヘリカーゼファミリーに属する。RecQ サブファミリー。類似性:ヘリカーゼ ATP 結合ドメインを1つ含む。類似性:ヘリカーゼ C 末端ドメインを1つ含む。類似性:HRDC ドメインを1つ含む。サブユニット:BRCA1 関連ゲノム監視複合体 (BASC) の一部であり、BRCA1、MSH2、MSH6、MLH1、ATM、BLM、PMS2、および RAD50-MRE11-NBS1 タンパク質複合体を含む。この関連性は、細胞周期全体および核内ドメイン内で変化する動的なプロセスである可能性がある。ユビキチン化された FANCD2 と相互作用する。RMI 複合体と相互作用する。RMI 複合体の RMI1 構成要素と直接相互作用する。

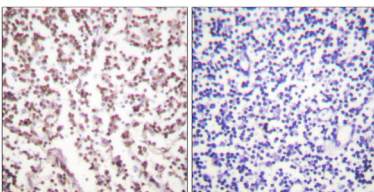
研究分野

相同組換え;

画像データ



ブルーム症候群抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



ブルーム症候群抗体を用いたパラフィン包埋ヒトリンパ節組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。